

フラスコ

- (1) 液量は容器の4分の3程度とし、沸騰させる場合は3分の1以下にする。
- (2) フラスコを持つときは、底を手のひらで支え、首の部分を持つ。特に、溶液を入れて振り混ぜる際に注意する。
- (3) 丸底フラスコを使用する際は、転倒防止のため、フラスコ台（幅2cm程度のボール紙で輪を作り、滑り止めにビニールテープを巻いたもので代用可）を用いる。
- (4) 気体を発生させて加圧状態にするときや、減圧状態にするときは、三角フラスコではなく、丸底フラスコを用いる。
- (5) フラスコにゴム栓やガラス管などをつけるときには、スタンドに固定する。

※フラスコの耐圧性比較 [\(動画\)](#)

丸底フラスコと三角フラスコの耐圧性を、水素爆鳴気の燃焼実験により比較します。